

# 英語科学習指導案

学 級 2年B組（男子14名，女子15名，合計29名）  
授業者 小田島 希枝

## 1 単元名 PROGRAM6 A Work Experience Program (SUNSHINE ENGLISH COURSE 2)

### 2 単元について

#### (1) 教材観

本単元は、9月に職場体験学習を実施した生徒たちにとって、話題として生徒の話したい欲求を十分に満たすものであると考えられる。実際に経験しているからこそ自分のこととして話しやすく、また、小学校外国語活動で「夢宣言」として取り扱った“I want to ～.”の表現も登場することから馴染みがあり、積極的に伝えようとする態度の育成が期待される。

本単元で取り扱う不定詞を使いこなせるようになると、自分のしたいことや将来のこと、行動の目的などを表現することができる。これらはあとで学習する“My Project 5 スピーチをしようーこんな人になりたい”においても使用場面を有するため、今学期のまとめに向けたモチベーションを高めていくためにも適した教材であると言える。

そこで、本教材を通して、エ 書くこと「(エ) 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちを書くこと。」を重点として外国語表現の能力を伸ばし、今後の活動へとつなげていきたい。

#### (2) 生徒観

1学期末の段階で、職場体験学習を楽しみにしている生徒が7割程度いることから、本単元に意欲をもって取り組むことが期待される。

また、四技能の中で英語を書けるようになりたいと考えている生徒の割合がもっとも高く、7割を超える。しかし同時に、書くことに対する苦手意識も高い。これまでの学習で、生徒たちは教科書の本文の一部を変更して内容のまとめをつくったり、別の内容の文章に変えたりして書く活動を行ってきた。しかしながら、英語の学習を苦手としている生徒にとっては難易度が高く、十分に理解しているとは言えない状況である。

授業は、JETやALTの話す英語にすぐさま反応することができる生徒数名の発言で進んでいくことが多い。うなずきや笑いといった反応を見ていると、学級の半数以上の生徒が理解していることがうかがえるが、間違えることを恐れるためか発言に至らない生徒が少なくない。しかしながら、帯活動として継続しているペアでのQ&Aでは、意欲的にペアと英語で話したり、英語であいづちや感想を言おうとしたりする生徒の様子も見られる。

#### (3) 指導観

本単元の学習を進めるにあたって、次の3点に留意しながら書くことに対する心理的負担を軽減していき、生徒が積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとすることを目指す。

- ① 段階を追って生徒が書く自己表現の英文量を増やしていく。例えば、Section1では単文、Section2ではスキット、Section3ではミニレポートというように生徒1人あたりの書く英文量を徐々に増やしていく。
- ② 教科書の文の一部をアレンジして自己表現をさせる。
- ③ 書く前に話してみることで、自分にとって書けそうな文が確かめさせる。

一から英文を組み立てようとすると、その時点で手が止まってしまう生徒が非常に多い。そこで、もともとある英文を利用して一部を変えたり付け加えたりすることや、ペアで協力しながら書けそうな文が確かめたりすることによって、スムーズに書く活動へと進んでいくことができると考える。

### 3 単元の見目

- (1) 教科書本文をアレンジして、自身の職場体験学習のミニレポートを書くことができる。  
【外国語表現の能力】
- (2) 積極的にコミュニケーションを図り、活動に参加しようとする。  
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- (3) 教科書本文のどこをどのようにアレンジすれば自己表現に役立つかが理解できる。  
【外国語理解の能力】
- (4) 「不定詞」の3つの用法（名詞的用法・副詞的用法・形容詞的用法）を理解している。  
【言語や文化についての知識・理解】

### 4 単元の指導計画と評価規準（7時間扱い 本時6／7）

時	学習内容	書く活動	評価規準
1	・本単元で身につける技能や理解する内容を知る。 ・自分のしたいことを言うときの表現を理解する。	インタビューから分かったことを英語で書く。	(言) 不定詞の名詞的用法を理解している。
2	・Section1の対話の内容を理解する。 ・本文をもとに、ペアの職場体験学習についてインタビューをする。		(関) 積極的に英語を用いてインタビューをしようとしている。 (理) 本文のどこをどのようにアレンジすればよいか理解できている。
3	・行動の目的を言うときの表現を理解する。	ペアで協力して職場体験学習についてのスキットをつくる。	(言) 不定詞の副詞的用法を理解している。
4	・Section2の対話の内容を理解する。 ・本文をもとに、職場体験学習についてのスキットをつくる。		(関) 積極的にコミュニケーションを図り、スキットをつくらうとしている。 (理) 本文のどこをどのようにアレンジすればよいか理解できている。
5	・何をするためのものか言うときの表現を理解する。 ・Section 3のスピーチの内容を理解する。	インタビューに答える形で自身の職場体験学習について英文で書く。	(言) 不定詞の形容詞的用法を理解している。
6	・ミニレポートの下書きを書く。	ミニレポートの下書きを書く。	(理) 本文のどこをどのようにアレンジすればよいか理解できている。 (表) 教科書本文をもとにミニレポートを書くことができている。
7	・ミニレポートを完成させる。	ミニレポートを書く。	(関) 積極的に自分の経験を伝えるための文を書こうとしている。 (表) 教科書本文をもとにミニレポートを書くことができている。

## 5 本時の指導

### (1) 目標

- ・ 教科書本文をもとに、自身の職場体験について紹介するミニレポートを書くことができる。
- ・ 教科書本文のどこをどのようにアレンジすればよいかを理解できる。

### (2) 具体の評価規準

評価の観点	評価規準	支援を要する生徒への手立て
外国語理解の能力	本文のどこをどのようにアレンジすればよいかを理解できている。	それぞれの英文がもつ役割に気づかせる。
外国語表現の能力	教科書本文をもとにミニレポートを書くことができている。	これまでに作成した英文のうち、どれを使えばよいか考えさせる。

### (3) 本時の展開

段階	学習内容	生徒の学習活動	留意点(●評価の場面と方法) (□書く活動)
導入 10分	1. Greeting	・ 英語で挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アレンジ可能な箇所を別の表現に変えて、本時の活動への意識づけを図る。</li> <li>・ 「何を伝えたい文なのか」を考えさせる。</li> </ul>
	2. ぺらぺら Speaking	・ ペアで簡単な Q&A をする。	
	3. Review	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時の学習内容を復習し、本文を音読する。</li> <li>・ それぞれの英文がどのような役割を果たしているか確認する。</li> </ul>	
展開 30分	4. Teacher's Talk	・ 授業者のつくったミニレポートの内容を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒自身の職場体験について質問しながら、授業者の体験の発表へとつなげていく。</li> </ul>
	5. Goal	・ 本時の Goal を確認する。	
	Goal: 本文をアレンジして、みんなに伝わるミニレポートづくりの準備をしよう。		
展開 30分	6. Writing	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書本文やこれまでに書いた英文の中から使いたい英文を選ぶ。</li> <li>・ 話の内容と書く順番を考えて、ミニレポートの下書きを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□どの本文のどこをアレンジすればよいか考えさせ、ミニレポートの下書きを書かせる。</li> <li>●【理解・表現】活動の観察</li> <li>・ 「初めて読む人にも伝わるか」という観点でアドバイスをさせる。</li> </ul>
	7. Group Work	・ できあがったレポートをグループ内で共有し、アドバイスし合う。	
まとめ 10分	8. Reflection	・ 本時の学習を振り返り、自己評価をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>□本時の学習でつけた力と次回手直ししたい内容について記述させる。</li> <li>●【理解・表現】ミニレポート下書きの回収及び自己評価の内容</li> </ul>
	9. Greeting	・ 英語で挨拶をする。	

(4) 板書計画

Goal: 本文をアレンジして、みんなに伝わる  
ミニレポートづくりの準備をしよう。

<文の役割>

- ・体験の内容を表す文 (Where・What・How)
- ・自分の考えを表す文 (感想・考えたこと)
- ・将来のことを表す文 (将来の夢・そのために…)

<書き方の手順>

1. Choose 2. Arrange 3. Write!

→書き終えたら、  
初めて読む人にも伝わる文か確かめよう！

Good point of View!

(生徒の辞書に載っていない  
単語や文例、生徒が書いた良い  
文を紹介するためのスペース)

まとめ (ふりかえり)

- ・今日の学習でつけた力
- ・アドバイスを受けて次回  
直したいこと